

Fusyo Collaboration letter



6月 5日 No.10 文責 廣田 秀俊

LAST-1 最高の思い出を

ワクワクの思い全開で6年生100名全員が修学旅行出発の日にそろいました。2泊3日の修学旅行へ向け、「真の力」「絆の輪」「攻めの学び」をパフォーマンスで確認し、さあ出発です。



最初の学びは PEACE CARAVAN。長崎県の大学生との平和の学び。3名の大学生を講師に迎え、平和についての過去を知り、現在を話し、未来を想う時間です。核兵器の数、所有国、核兵器禁止条約についてディスカッションしていきました。核兵器の多さや戦争の悲惨さについて学びあうことができました。



原爆資料館や落下中心地での説明や如己堂や山里小学校での資料を通じ、戦争に目を向け戦争を知り、戦争を許してはならないことを改めて実感しました。平和祈念館ではその思いを、千羽鶴や祈りの歌、全員の祈りに捧げていきました。



1日目のホテルでは、豪華な夕食や仲間とのふれあいの時間を満喫しました。班長会議では振り返りの中で成果や課題が挙げられ、真の力を発揮するための「感謝」という言葉を意識していくことを全員で確認しました。

2日目の朝も充実した食事で栄養補給。長崎でのお買い物を済ませ自主研修に出発です。心配された天気も回復し、グラバー園、出島、めがね橋、歴史文化博物館へ行き、班行動で歴史を学ぶことができました。電車の乗り方や道順を地域の方に聞いたり、ツアー観光客の方と談話したり、歴史以外の場面でも学習する時間となりました。2日目の最終目的地、吉野ヶ里歴史公園は広大な面積で、まわりきれないくらいの多くの展示物がありましたが、これまでの社会の時間の学びを活かし、歴史を学ぶ視点で見学することができました。



2日目もホテルでの栄養満点の料理でエネルギーを補給し、大浴場の温泉で疲労回復に努めました。この日の班長会議でも、Good Pointとして“時間前行動”“譲り合い”“聞き合う姿”“生活班の歩き方”“次のことを考えた行動”など、レベルアップした事柄が次々とあげられ、次の日の課題も確認することができました。



最終日のグリーンランドでも「みんなと一緒に考えて行動できた」「先生と一緒にまわって、先生も楽しんでいた」「悲しい思いをする人がいなかったの、日常生活に活かしたい」「少し雨が降ったけど、みんなで最高の思い出が作れた」という前向きな声が聞こえてきました。

本当に素晴らしい3日間でした。3日間で学んだことを、これからの学校生活をおくるためのエネルギーに変え、充実した学校生活につなげていってほしいと思っています。

